

沼津工業高等専門学校〔寮生〕逍遙歌

作詞 市川良輔
作曲 高橋清

Allegretto

せんこのゆきに てるけえ て
あけゆくふじに むこうと き
あーむねのとに ゆきあするー
わかきのさみをしる やーきーみー
わがこうぎょうの ゆくみち に
さやけきねがい ちかわすや

沼津工業高等専門学校

〔寮生〕逍遙歌

一、千古の雪に 照り映えて
明けゆく富士に 対うとき
あゝ胸の門に 湧き出づる
若き希望を 知るや君
わが工業の 行く途に
さやけき願ひ 誓わずや

三、やすらい出でし 夕まぐれ
水静かなり 門が池
あゝ香貫嶺に ともる灯に
夢もまどけく 思うや君
箱根や天城 空遠く
ふるさとしばし 偲ばすや

二、土の香たかく 風薫る
みどりの丘に 集うとき
ああ青春の 意気満ちて
燃ゆる瞳を 見るや君
学びの庭に 肩組んで
科学のあすを 語らずや

四、駿河の野辺の 旅ごろも
あこがれ深き 五つ年に
あゝ千本の 松風も
いつか名残と 聞くや君
ゆたけき想ひ 結びつゝ
高専沼津 忘れじや